

平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年5月14日

上場会社名 株式会社フォトクリエイト 上場取引所 東  
 コード番号 6075 URL http://www.photocreate.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 朋陸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 桑原 功 (TEL) 03-6812-7054  
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	2,481	2.3	51	△63.4	53	△59.3	29	△62.9
26年6月期第3四半期	2,426	12.3	141	△11.3	131	△18.3	79	△18.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年6月期第3四半期	22.42		21.57					
26年6月期第3四半期	64.02		58.58					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	1,295	789	60.7
26年6月期	1,227	744	60.7

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 786百万円 26年6月期 744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,331	6.3	153	△17.8	148	△15.5	92	△13.6	70.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年6月期3Q	1,336,100株	26年6月期	1,312,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年6月期3Q	一株	26年6月期	一株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年6月期3Q	1,313,829株	26年6月期3Q	1,238,982株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は平成27年5月14日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年7月1日～平成27年3月31日)における我が国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に、円安・株高が進行し、また企業収益や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかながらも回復基調で推移いたしました。その一方で、円安による物価上昇や消費税増税に伴う消費マインドの落ち込みが影響し、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社は、「感動をカタチにしてすべての人へ」という経営理念のもと、インターネット写真サービス事業を着実に推進し、フォトクラウド事業の展開スピードの加速化に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,481,804千円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益は51,790千円(前年同四半期比63.4%減)、経常利益は53,435千円(前年同四半期比59.3%減)、四半期純利益は29,450千円(前年同四半期比62.9%減)となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。

#### (インターネット写真サービス事業)

当第3四半期累計期間においては、「東京マラソン2015」、「JAL Honolulu Marathon 2014」、「大阪マラソン2014」を始めとした各種イベントの撮影・販売を行いました。主にスポーツイベントにて写真を撮影・販売する「オールスポーツコミュニティ」において、撮影イベントを絞り込んでいる一方で大型イベントの売上が順調に推移いたしました。

この結果、当事業部門の当第3四半期累計期間の売上高は、1,875,053千円(前年同四半期比1.7%減)となりました。

#### (フォトクラウド事業)

写真館・撮影事業者向けにもサービスを提供するWebサイト「スナップスナップ」において、株式会社ラボネットワークと平成27年2月に締結した業務提携契約に基づく取り組みとして、双方の既存顧客への営業活動に注力し、写真館との取引拡大を進めております。

また、結婚式場にサービスを提供するWebサイト「グロリアーレ」において、全国各地の結婚式事業者及び婚礼写真会社との取引拡大を進めております。

この結果、当事業部門の当第3四半期累計期間の売上高は、553,748千円(前年同四半期比18.1%増)となりました。

#### (広告・マーケティング支援事業)

当事業部門におきましては、前期からの継続案件に加えて、大型マラソン大会におけるタイアップ案件を中心に新規クライアントの開拓に注力しました。

この結果、当事業部門の当第3四半期累計期間の売上高は、53,002千円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,168,886千円となり、前事業年度末に比べて43,899千円増加しました。これは主に、売掛金が178,665千円増加した一方で、現金及び預金が149,144千円減少したことによるものです。また、固定資産は126,921千円となり、前事業年度末に比べて24,080千円増加しました。これは主に、有形固定資産が11,977千円増加したこと及び無形固定資産が22,287千円増加した一方で、投資その他の資産が10,184千円減少したことによるものです。

#### (負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債は505,980千円となり、前事業年度末に比べて22,885千円増加しました。これは主に、買掛金が60,758千円増加した一方で、長期借入金が38,088千円減少したことによるものです。

#### (純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産は789,828千円となり、前事業年度末に比べて45,094千円増加しま

した。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が29,450千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年8月8日に公表いたしました平成27年6月期の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 追加情報

(四半期損益計算書関係)

当社では、開催されるイベントを主な収益源としており、イベント開催時期により売上高・営業費用に季節的な変動があります。通常、大型マラソンや運動会が開催される第2四半期会計期間(10月～12月)及び第3四半期会計期間(1月～3月)に売上高・営業利益が高く、第1四半期会計期間(7月～9月)及び第4四半期会計期間(4月～6月)の売上高・営業利益は低くなる傾向にあります。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	593,602	444,458
売掛金	183,547	362,212
有価証券	300,000	300,000
貯蔵品	4,817	3,501
その他	43,019	58,713
流動資産合計	1,124,987	1,168,886
固定資産		
有形固定資産	44,892	56,870
無形固定資産	20,806	43,094
投資その他の資産	37,142	26,957
固定資産合計	102,841	126,921
資産合計	1,227,829	1,295,808
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	182,806	243,565
1年内返済予定の長期借入金	50,784	50,784
未払法人税等	14,731	—
その他	83,801	100,371
流動負債合計	332,123	394,720
固定負債		
長期借入金	144,526	106,438
その他	6,445	4,821
固定負債合計	150,971	111,259
負債合計	483,094	505,980
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	242,275	248,302
資本剰余金	224,075	230,102
利益剰余金	278,382	307,832
株主資本合計	744,734	786,237
新株予約権	—	3,591
純資産合計	744,734	789,828
負債純資産合計	1,227,829	1,295,808

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,426,759	2,481,804
売上原価	1,391,601	1,495,450
売上総利益	1,035,157	986,353
販売費及び一般管理費	893,755	934,563
営業利益	141,401	51,790
営業外収益		
受取利息	130	333
為替差益	909	2,311
その他	320	767
営業外収益合計	1,359	3,411
営業外費用		
支払利息	1,513	1,402
株式交付費	2,648	93
株式公開費用	7,398	—
その他	39	270
営業外費用合計	11,598	1,766
経常利益	131,162	53,435
税引前四半期純利益	131,162	53,435
法人税、住民税及び事業税	35,763	18,624
法人税等調整額	16,081	5,360
法人税等合計	51,844	23,985
四半期純利益	79,317	29,450



### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、インターネット写真サービス並びにこれらに関連した事業の単一セグメントであることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(合弁会社の設立)

平成27年5月14日開催の取締役会において、株式会社ルクレと「ネットワークカメラソフトウェア」事業の展開に関して、合弁会社の設立に向けた基本合意について決議し、同日基本合意契約を締結いたしました。

当社は株式会社ルクレから新設分割により設立される株式会社アロバの第三者割当増資を引受け、当社と株式会社ルクレとの合弁会社として運営していくことに合意しております。

#### (1) 合弁会社設立の目的

株式会社アロバは、監視カメラを中心としたネットワークカメラに関するソフトウェアを開発しており、同社が開発した「アロバビュー」は日本のネットワークカメラソフトウェア市場においてトップシェア（株式会社テクノシステムリサーチ調べ）を獲得しております。

監視カメラは「安心・安全」な社会に繋がるインフラとして普及が見込まれており、中でもネットワークカメラは画質・拡張性・利便性の高さ等の観点から、アナログカメラからの移行も進んでおり、ネットワークカメラ市場は高い成長が期待されています。

当該ネットワークカメラに関するソフトウェアには、画像認識・動画の加工・データ解析に関する技術が求められ、当社が運営するインターネット写真販売事業と必要な基礎技術が共通しております。

当社は株式会社アロバと画像認識・動画の加工・データ解析技術に関して、共同で技術開発を進めることにより効果的・効率的に当該技術開発が実現できるものと判断しました。

今後は、株式会社アロバと共同開発した技術を活用し、感動の瞬間を写真というカタチにして、より多くのお客様にお届けできるように努めてまいります。

#### (2) 設立予定合弁会社の概要

名称	株式会社アロバ
本店所在地	東京都渋谷区渋谷2-12-19
代表者	代表取締役 池田 武史
主な事業内容	ネットワークカメラに関するソフトウェア事業
設立時期	平成27年5月（予定）

#### (3) 合弁相手先の概要

名称	株式会社ルクレ
本店所在地	東京都渋谷区渋谷2-12-19
代表者	代表取締役 池田 武史
主な事業内容	ソフトウェアの提供に関する事業

(4) 取得金額および取得後の持分比率

取得価額 490百万円

取得後の持分比率 49.0%

(注) 実際の取得価額は変動する可能性があります。

(5) 支払資金の調達及び支払方法

支払資金は、自己資金による一括支払い

(6) 日程

基本合意書締結日 平成27年5月14日

契約締結日 平成27年6月16日(予定)

株式取得日 平成27年7月1日(予定)